

ORIGIMIZER

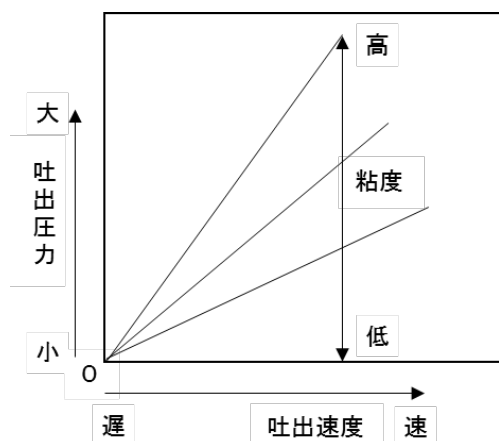
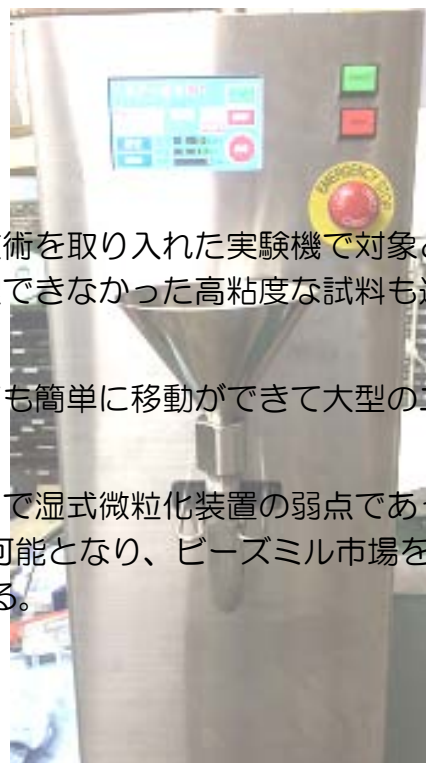
縦型微粒化装置

VS-200C

本装置は、従来の湿式微粒化装置にはない新しい技術を取り入れた実験機で対象となる試料の条件範囲を広げ、ビーズミルでなくては処理できなかった高粘度な試料も通液処理ができるものである。

尚、使用環境は、条件規制されるものではなく何処でも簡単に移動ができて大型のエア－供給装置の必要もありません。

また、本装置の特徴である逆止弁が廃止されたことで湿式微粒化装置の弱点であった高粘度スラリー状物質（20,000cp 以下）でも通液可能となり、ビーズミル市場をも意識した装置である。



本装置は、吐出速度を変化させることで処理圧（つまり吐出圧力）が変わり最適な処理条件を設定していきます。

吐出速度を上げていくと圧力は高くなる。

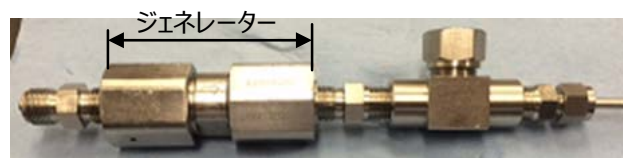
粘度が高くなると吐出圧力は高くなる。

特徴

右図は漏斗と高圧ヘッドユニット貯留タンク部の接続配管です。逆止弁がないため洗浄はいたって簡単で短管も漏斗も押し込むだけでセットできます。また、縦型構造により通液性が良くエア－抜きもスムーズです。



試料が高速/高圧で通過するノズル（ジェネレーター）は、①衝突型 ②貫通型 ③乳化用の3種類を取り揃えております。同じ試料であってもジェネレーターを変更することで吐出圧力は変わります。



新技術による優れたコストパフォーマンス
低コスト、短時間で大量処理が可能
省エネの時代だからこそ選ばれる

乱流式・乳化分散装置 「レイノルズ」

新技術



高圧式、粉碎式など従来方式
ではない新技術の乱流式（特
許申請中）

せん断や衝突などで微粒子化
しないので物質の粒子を傷め
ずに、圧倒的な省電力および
短時間で大量処理を可能にし
ます。

さらに高粘度スラリー状物質
も通液できるため、幅広い用
途で活躍します